



めぐろ 区議会だより

2024年10月31日号 No.281

発行／目黒区議会事務局
〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15
☎03-5722-9415
FAX 03-5722-9335
🌐<https://www.city.meguro.tokyo.jp/kusei/kugikai/index.html>



区議会だより
発行月

4月

7月

10月

1月

次の発行は、令和7年1月9日の予定です

撮影協力：目黒消防署

力を合わせて 災害に強いまちづくり



令和6年
第3回定例会

令和5年度決算を認定しました

概要 9月4日から30日までの27日間で開催しました。

- 11人の議員が2日間にわたり、区政の課題について一般質問を行いました。 **2・3面**
- 決算特別委員会(佐藤ゆたか委員長、木村あきひろ副委員長)を設置し、令和5年度決算について6日間にわたり審査しました。 **5面**
- 区長提出議案を審議した結果、24件を原案どおり可決、1件の撤回を承認しました。議員提出議案2件を審議した結果、原案どおり可決しました。 **6面**
- 陳情は審議の結果、1件を採択、5件を不採択、1件の撤回を承認したほか、6件を継続審査としました。 **6面**

議員勉強会を開催しました **8面**




9月26日、目黒消防署を訪問し、震災や豪雨災害への対応についてお話を伺うとともに、最新型のはしご車を見学しました。

一般質問と答弁


～各議員のコードから録画映像を視聴できます～

9月4日



区立児童相談所開設の進捗状況
と都市間交流について

自由民主党目黒区議団・区民の会 田島 けんじ 議員




区立児童相談所の開設

問 目黒区内で起きた児童虐待事件を契機に、国の児童相談体制が強化され、区立児童相談所設置への機運が高まった。我が会派は、児童相談所の設置については、区立児童相談所の前にサテライトを作り、子ども家庭支援センターと連携して児童虐待に対応するよう、区に働きかけてきた。都児童相談所の誘致を含めて、区内の児童相談所の開設の方向性を伺う。

区長 特別区長会では順次児童相談所の設置を目指し、現在8区で開設している。一方で、3区が設置しないことを表明し、状況に変化が生じている。実際の虐待案件に関する児童相談所との連携体制や、児童福祉全般における区の関わり方についてなど、多様な視点で議論を重ね、子どもにとって最善の利益を図ることを念頭に置いて検討した結果、区では都立児童相談所を早期に誘致する判断をした。


問 友好都市中浪区にて、三区間交流事業が実施され、私を含め議員10名と区長以下代表団4名、選手団23名で訪問した。コロナ禍では、オンラインでの交流等を行ってきたが、5年ぶりに対面での開催となった今回の総括と今後の交流事業について伺う。

区長 自治体間の交流が一層進み、青少年の成長に寄与できた。「互いの文化を認め合い共に生きるまちづくり」を目指し、多文化共生社会の実現に向けて努力する。



住区センターに電子看板設置！
学校バスの安全確保を！

めぐろの未来をつくる会 吉野 正人 議員



住区センター利用者の利便性向上

問 電子看板を設置し利便性向上を図れ。

区長 タイムリーな情報配信、業務効率化、負担軽減にもなるので設置可能な住区センターから導入を検討する。

生活安全パトロール(青パト)

問 青パトに散光式警光灯を新設せよ。

区長 犯罪防止に向けて検討する。

自然宿泊体験教室等のバス手配

問 子どもたちの安全を第一に手配せよ。

教育長 バス業界の動向を注視し学校等と連携・協力し、バスの確保に努める。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進の取り組み

問 教員の負担軽減、学校と地域との良好な関係づくりのための制度設計をせよ。

教育長 地域と学校が連携・協力して魅力ある学校づくりを進める体制を整備する。

小学校の40分授業午前5時間制


問 保護者への説明をしっかりと行え。

教育長 他校の実績等を伝え、理解と協力を得られるよう学校支援を行う。

中学校部活動の地域連携・地域移行


問 予算措置を講じ受け皿を整備せよ。

教育長 課題解決に向けて、謝礼の増額など予算措置について努力する。



区民の日常に焦点を当て、
安心して暮らせるまちに！

公明党目黒区議団 関 けんいち 議員



再開発ビルによる風害のリスク検証

問 自由が丘や中目黒駅の再開発、区民センター整備事業による影響を伺う。

区長 民間事業者に対して、周辺地域に及ぼす環境影響調査を実施するよう申し入れを行う。

問 市街地縮小模型で風洞実験(※1)しては。

区長 開発の規模に適した最善の手法で調査・検討の実施を申し入れる。

自転車運転ルール・マナーの啓発

問 違反行為や事故被害の状況等を、区民に訴えかけられないか。

区長 警察署や関係団体と連携し、引き続き強い情報発信に取り組む。


問 守らない利用者に直接的に働きかけるべきでは。

区長 ルール等の啓発を今後も続ける。

軟骨伝導(※2)イヤホンの窓口導入


問 小声でもはっきり聞こえ、衛生的に使い回せるイヤホンの導入を伺う。

区長 自治体における活用実績がまだ少ないため、調査研究を行っていく。



災害対策基金設置・不登校支援
強化・支援員のサポート

目黒区議会立憲民主党 後藤 さちこ 議員



災害対策基金の設置について

問 防災、災害対策、復興支援を目的とした災害対策基金を設置すべきと考えるが、区の見解を伺う。

区長 災害に強いまちづくりを力強く推進していくため、寄付金を柔軟に活用できるよう、災害対策基金について設置の必要性も含めて検討する。

不登校児童・生徒の対応について


問 支援体制の構築とともに、アウトリーチ型(※3)の不登校児童・生徒支援が必要と考えるが、いかがか。

教育長 児童・生徒とその保護者の声を聴き、多面的な取り組みを進める。

特別支援教育支援員への対応について


問 支援員との情報共有に努めるよう改めて学校に伝えてほしいが所見を伺う。

教育長 研修等を通じて、必要な知識の修得を図るとともに、関係者が緊密に連携し、子どもたちに適切な支援がされるよう、各校へ指導・助言を行う。



カーボンハーフ実現、PFAS(※4)
汚染調査、新ルート撤回等

日本共産党目黒区議団 斉藤 優子 議員



カーボンハーフ実現に向けて

問 気候区民会議を設置せよ。

区長 目黒区環境基本計画を進める中で必要性を判断していく。

問 区だけでなく、国や都の助成制度一覧を作成し、相談窓口を設置せよ。

区長 環境対策は多岐にわたり、一覧にするのが困難である。各事業主体者が正確に伝えることが合理的である。

問 緑被率(※5)ではなく、樹冠被覆率(※6)の目標を策定し、引き上げるべき。

区長 区民に親しまれる町並みの多様な緑を保全・創出する施策を総合的に推進する方向で検討を進める。

PFAS汚染の実態調査と把握

問 給食調理器具の汚染実態を調査せよ。

区長 国や都からの情報を注視する。

問 区有施設に設置している人工芝のPFAS汚染の実態を調査・把握せよ。

区長 国際的に検討が進められている段階であり、実態調査の予定はない。

新型コロナウイルスに対する区独自の支援

問 高齢者のコロナワクチン接種無料へ。

区長 予防接種全般についての助成を国に要望した。無料化は考えていない。

問 福祉施設へ感染拡大防止支援すべき。

区長 総合的に勘案し個別対応を行う。

問 低所得者へコロナ治療に医療費支援。

区長 国が医療費制度で対応する。


国に対し、羽田新ルート撤回要請を

問 区民の命を守るため、新ルートは撤回するよう求めるべきではないか。

区長 国の責任と判断で行われており、区が撤回を求めることは考えていない。

令和6年第4回定例会の予定

会期：11/21～12/5




日	月	火	水	木	金	土
11/17	11/18	11/19	11/20	11/21 議会運営 本会議 (一般質問) ライブ中継	11/22 本会議 (一般質問) ライブ中継	11/23 祝日
第4回定例会で審査する請願・陳情の提出期限は、11月12日(火)正午です。						
11/24	11/25 議会運営 本会議 (議案付託) ライブ中継	11/26 企画総務 生活福祉 都市環境 文教・子ども (議案審査)	11/27 企画総務 生活福祉 都市環境 文教・子ども (陳情審査)	11/28 施設更新・DX等 調査	11/29	11/30
議員写真展 10:00～16:00 7面						
12/1	12/2	12/3	12/4	12/5 議会運営 本会議 (議案議決) ライブ中継	委員会 特別委員会 午前10時開会 本会議 午後1時開会	
議員写真展 10:00～16:00 (12/5は15:00まで) 7面						

ライブ中継：本会議は、ライブ中継を行っています。

●録画映像はライブ中継終了後、およそ1週間ほどで視聴できます。

●傍聴は当日、総合庁舎本館5階の区議会事務局へお越しください。



議会議中継

傍聴

9月5日



無償オーガニック^(※7)給食が進む 韓国に学べ！



こいで まあり 議員

自校式で美味しい、めぐろの給食の「質」をさらにアップ

問 オーガニック給食が無償提供されている、韓国の京畿道安養市を訪問し、独自に調査した。安養市では様々な工夫をしながら、有機・無農薬野菜利用率87%の給食を提供している。本区の強みは、全ての小・中学校に、栄養士・栄養教諭を配置し、全て自校式で給食調理をしていることである。山梨県北杜市の有機じゃがいもを実験的に提供するなどの取り組みもあるが、今後、国のみどりの食料システム戦略^(※8)のオーガニックビレッジ^(※9)でもある友好都市、大分県臼杵市等の有機食材を給食に使用していく考えはあるか。

教育長 食育の観点から有機農産物を学校給食で提供していくことは、教育的に意義があるものと認識している。有

機じゃがいもの共同調達の試みも、生産者、食品納入業者との綿密な準備、調整を経て、国産標準品と同等の価格での調達につなげている。引き続き、各校の栄養教諭や栄養職員とともに、共同購入を含めた効果的・効率的な調達方法の調査・研究に努めていく。

問 その際、パン・麺・牛乳に関し「学校給食会」との契約を見直すことも必要ではないか。

教育長 学校給食会は、学校給食用の物資の安定供給や安全確保に関する事業等を行うために、都道府県単位で設置されている。学校給食で毎日提供する主食の食材や牛乳については、東京都学校給食会を通じて供給を受けることにより、安全で品質の高い学校給食を安定的に提供できているものと考えている。



当事者をまんやかに！ 新しい女性支援を進めよ



増茂 しのぶ 議員

確実に支援の手が届くよう、各機関が連携して支援すべき

問 伴走型、アウトリーチ型支援^(※3)を進めよ。民間支援団体の把握と協働を問う。

区長 困難な問題を抱える女性が、ためらうことなく、安心して相談できる取り組みの検討と、基本理念に沿った支援に努める。

女性支援にはジェンダー^(※10)平等の視点を

問 人権擁護、男女平等の取り組みを問う。

区長 全ての人権が尊重される地域社会の実現に向けて、継続的に取り組む。

女性支援新法^(※11)の趣旨を区民に周知せよ

問 相談支援につながるよう、区民に周知すべきと考えるがいかがか。

区長 今後とも、法の基本理念を踏まえた周知・啓発と支援に取り組む。



持続可能な地域づくりと、 安心して暮らせる目黒へ



自由民主党目黒区議団・区民の会 木村 あきひろ 議員

町会・自治会の人手不足に対する支援

問 町会・自治会の担い手不足は深刻な問題である。町会・自治会と地域で活動する様々な団体をつなぐための区の支援について問う。

区長 他の町会・自治会との連携・協力への支援は、引き続き充実を図る。地域で活動する団体と町会・自治会をつなぐ支援については、先行自治体の例を参考に調査・検討を進める。

災害時のトイレ問題と安全な在宅避難

問 災害時には避難所ではなく自宅で在宅避難をする方が多いと予想される。そこで、トイレ不足解消と家で安心して過ごすために家具転倒防止が必要と考える。区の考えを問う。

区長 避難所にマンホールトイレの整備と配布用の携帯トイレの備蓄を進めている。家具転倒防止については、器具の取り付けが困難な高齢者に助成を行っている。今後も情報が適切に届くよう、積極的な周知を行う。

認知症患者とそのご家族への支援

問 認知症患者と、そのご家族への支援はどのように行うのか。また今年から始まった物忘れ検診をより多くの方に受診してもらうためにはどうするのか。

区長 医療機関や介護事業者などの関係機関と緊密な連携を図りながら、認知症施策を推進する。検診の受診はアウトリーチ^(※3)も含め家族を支援する。



ヤングケアラー^(※12)問題の解決に 介護業界ができること



めぐろの未来をつくる会 坂元 悠紀 議員

介護事業所のヤングケアラー対応

問 介護業界はヤングケアラーの発見や解決に大きな役割を担えるはずだ。しかし、業務負担や低報酬が問題となっている中、さらなる負担をかけることはできない。区としてどのように支援、連携していくのか。

区長 これまで、ヤングケアラーの認知度向上、周知啓発と理解促進に取り組んできた。今後、子ども家庭支援センターで介護事業者の相談を受け、アドバイスができる体制の整備と、区と関

係機関が連携しながら課題に対応していく仕組みづくりを行う。

目黒区独自の介護職員支援を！

問 介護職員不足はまるで改善されていない。介護職に区を選んでもらえる独自の支援策が必要な時期に来ていると考えるが、いかがか。

区長 特別区長会を通じ、国や都に介護人材の確保・定着や育成に関する施策の実施を要望している。国や都の施策を活用しながら、総合的に介護事業者や従事者支援の取り組みを進める。



区民が健康で安全・安心に 暮らせるまち、目黒を !!



公明党目黒区議団 佐藤 ゆたか 議員

落書き対策について

問 区の落書き防止対策は効果がない。落書きは犯罪。『割れ窓理論^(※13)』でニューヨーク市は犯罪が減少した。落書き防止に本気の姿勢を示せ。行政が率先し、地域と連携強化せよ。

区長 警察等の関係機関との連携はもとより、区民や事業者との効果的な連携方策を検討していく。

肺炎予防について

問 高齢者は肺炎リスクが高い。RSウイルス感染症^(※14)の薬はなく、予防が大事。RSウイルスの周知と感染予防をせよ。

区長 今後も、国や都を通じてしっかりと情報収集するとともに、情報交換会等を活用して区内医療機関等との連携を深め、適切な情報を発信していく。



民間登用人材をもっと活用し、 広報・広聴の更なる改善を



目黒区議会立憲民主党 橋本 しょうへい 議員

区民に幅広く目を向ける区政へ

問 行政は、他の町から転入してきた区民や若い区民に、もっと目を向けてほしい。区の広報を改善すべく登用した民間人材の残りの任期は最大で1年半。当初の目的に対する達成度、広報部門以外による広報の在り方も含めた評価はいかがか。

区長 区報、公式ウェブサイト、SNSによる情報発信におけるデザインやクリ

エイティブの向上、人材育成など一定の成果を達成した。引き続き、区全体の広報力を高める活動を期待する。

問 広聴については目黒区基本構想^(※15)で区民との双方向のコミュニケーションをうたうが、今後の考えは。

区長 引き続き、広報と広聴を両輪とするコミュニケーションを図る。

《用語解説》

※1 風洞(ふうどう)実験 固定した模型の周りに空気を流し、その模型に働く力やその周りの風の流れを計測する実験。

※2 軟骨伝導 耳の入口付近にある軟骨を振動させて音を伝える仕組み。振動を受け取った軟骨がスピーカーの役目をして外耳道内に音波が生まれ、鼓膜を振動させて音を感じ取る。

※3 アウトリーチ(型支援) 支援が必要であるにも関わらず、自発的に申し出をしない個人や家族に対して、公共機関などが訪問支援や当事者が行きやすい場所での相談支援など、積極的に働きかけて支援の実現を目指すこと。

※4 PFAS(ピーファス) フライパン等の調理器具や泡消火剤、レインコートの他、幅広い用途で使用されている有機フッ素化合物の総称。

※5 緑被率 一定地域の中で、上空から見て芝や樹冠など緑で地上が覆われた面積が占める割合。

※6 樹冠被覆率 高木の樹冠で覆われた土地面積のみの割合を表した指標。樹冠が広がると強い日差しを遮る範囲が広がり、緑陰効果が大きくなる。

※7 オーガニック 化学肥料・農薬を原則使わず、可能な限り環境に配慮した栽培法で作られた有機農産物のうち、有機JASマークが付されたもの。

※8 みどりの食料システム戦略 農林水産省が策定した、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する戦略。

※9 オーガニックビレッジ 有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める市町村のこと。

※10 ジェンダー(gender) 社会的・文化的に形成された性のありようのこと。「生物学的性別」(sex)に対して、社会通念や慣習の中で作り上げられた「男性像」「女性像」。

※11 女性支援新法(困難な問題を抱える女性への支援に関する法律) 女性をめぐる課題が複雑化・複合化する中、孤独・孤立対策も含め、新たな女性支援を強化する法律。

※12 ヤングケアラー 家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者。

※13 割れ窓理論 1枚の窓ガラスを割れたままにしていると、さらに割られる窓ガラスが増え、街全体が荒廃するという理論。

※14 RSウイルス感染症 ウイルスが引き起こす急性呼吸器感染症。基礎疾患のある幼児や高齢者に重篤な症状を引き起こすことがある。

※15 目黒区基本構想 目黒区のまちづくりの基本的な理念や将来像と、長期的な目標や政策の方向を示す最上位の行政計画。

委員会の主な議題(令和6年7月～9月)

常任委員会

◆ 企画総務委員会

議案審査と陳情審査の結果と賛否

6面

■7月10日(水)

- 東京大学との基本協定締結
- 訴訟事件の発生
- 職員の懲戒処分
- 契約報告(10件)

■8月7日(水)

- 総合庁舎屋上庭園における芝生・キッズパークエリアの再整備の実施
- 職員の名札デザインの見直し
- 契約報告(8件)

- 電子契約サービスの試行実施
- 令和6年度感震ブレーカーアダプター無償配布事業の実施
- 令和6年7月7日執行東京都知事選挙の結果

■9月9日(月)

- 議案審査
- 令和6年度都区財政調整当初算定結果
- 令和6年度区政功労者表彰式の概要
- ハラスメント外部相談窓口の設置
- 契約報告(6件)

- 台風10号の対応
- 「災害時等における通信障害復旧の連携等に関する協定」の締結
- 「災害時における応急用精米の供給に関する協定」の改定

■9月10日(火)

- 陳情審査

■9月11日(水)

- 議案審査

◆ 生活福祉委員会

■7月10日(水)

- 令和5年度公益財団法人決算報告
目黒区芸術文化振興財団／目黒区国際交流協会
- 令和5年度指定管理者運営評価結果(区民生活部)
目黒区立住区会議室／目黒区区民斎場
- 民事訴訟の提起
- 令和5年度指定管理者運営評価結果(産業経済部)
目黒区中小企業センター及び勤労福祉会館
- 令和5年度指定管理者運営評価結果(文化・スポーツ部)
目黒区文化ホール及び目黒区美術館／目黒区立体育施設
- Meguro Dance Connection(メグロ ダンス コネクション)参加者募集
- 目黒区民センタープール(屋内プール)の臨時休場
- 「トッパススリート交流イベント」の開催
- 新型コロナワクチンの定期接種への対応
- 令和6年度敬老のつどいの開催

- 令和5年度指定管理者運営評価結果(健康福祉部)
目黒区立高齢福祉施設／目黒区立障害福祉施設

■8月7日(水)

- 第61回目黒区商工まつり(目黒リバーサイドフェスティバル2024)の開催
- 第22回めぐろスポーツまつりの開催
- 「オクトーバー・ランアンドウォーク」における目黒区民限定イベントの開催
- 令和5年度目黒区保健福祉サービス苦情調整委員運用状況報告

■9月9日(月)

- 議案審査(※)
- 目黒区地域包括支援センター事業委託事業者の選定
- 令和6年第2回臨海部広域斎場組合議会定例会における議決結果等

- 令和6年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会臨時会における議決結果等
- 住民票等証明窓口に係る開設日変更等
- ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」公演の開催

■9月10日(火)

- 陳情審査
- 五本木小学校屋内プール(中央地区プール)の臨時休場
- 台風10号による砧野球場・砧サッカー場の被害状況
- 保健所の執行体制強化に向けた考え方
- 新型コロナワクチン定期接種の実施
- 子どものインフルエンザ予防接種費用助成
- 障害者参加型防災訓練の実施

■9月24日(火)

- 議案第41号目黒区立体育施設条例の一部を改正する条例の使用料算定の誤り(※)

◆ 都市環境委員会

■7月10日(水)

- 東京都市計画生産緑地地区(東が丘一丁目)の変更の取扱い
- 令和5年度指定管理者運営評価結果(都市整備部)
区営住宅等／三田フレンズ／目黒区立自転車等駐車場／ポニー園／駒場公園茶室・和室／駒場野公園デイキャンプ場
- 令和5年度指定管理者運営評価結果(環境清掃部)
目黒区エコプラザ
- 工事報告(2件)
- 工事報告(1件)

■8月7日(水)

- 令和6年度地籍調査事業
- 目黒川水質浄化対策施設の稼働停止と再稼働に向けた取組み
- 工事報告
- 工事報告(2件)
- 通園・通学路等の交通安全対策の取組状況
- 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)の追加

■9月9日(月)

- 議案審査
- 台風10号の対応

- 自由が丘駅公衆便所の改修
- 工事報告(3件)
- 区営住宅の入居者募集
- 「令和6年度版めぐろの環境(環境報告書)」の発行
- 喫煙所の指定に係る覚書の取り交わし
- 「多摩の森」活性化プロジェクトへの参加
- 目黒区エコプラザの臨時開館
- 令和5年度目黒区のごみ量と資源回収量

■9月10日(火)

- 陳情審査

◆ 文教・子ども委員会

■7月8日(月)

- 【視察】田道小学校、大岡山小学校、第十一中学校

■7月10日(水)

- 児童・生徒の学習用情報端末を活用した相談受付「めぐろそうだんポスト」
- ランランひろばのサービス拡大

■7月22日(月)

- 【視察】清泉寮、山梨県立ハケ岳自然ふれあいセンター、ハケ岳林間学園

■8月7日(水)

- 令和7年度隣接中学校希望入学制度の実施
- 新校舎基本設計(案)
目黒区立目黒南中学校／目黒区立目黒西中学校
- 区立小学校における個人情報の漏えい

- 緑が丘図書館の天井材の落下
- 児童手当制度改正に係る申請手続勧奨通知の発送
- ヤングケアラー支援のための取組

■9月9日(月)

- 議案審査
- 目黒西中学校の通学負担の緩和措置
- 令和7年度区立幼稚園及びこども園の園児募集
- 区立ひがしやま幼稚園における弁当給食の実施
- 1人1台学習用情報端末(GIGAシステム)の更新
- 令和6年度目黒区学習状況調査結果の概要
- 令和6年度全国学力・学習状況調査結果の概要
- 令和7年度使用目黒区立中学校教科用図書の新採択結果
- 目黒区青少年プラザの臨時休館
- 「目黒区子ども読書活動推進計画(仮称)」策定の進め方(案)

- 八雲中央図書館の臨時休館及び目黒区めぐろ区民キャンパス付帯駐車場の臨時休業
- 目黒区子ども総合計画改定に対する答申
- 令和6年度児童扶養手当制度及びひとり親家庭等医療費助成制度の改正

■9月10日(火)

- 陳情審査
- 学校業務(用務等)委託化の先行実施校選定等(案)
- 目黒区立向原小学校に複合化する児童館等の運営委託
- 緑が丘児童館等の運営委託事業者公募の概要
- 令和5年度指定管理者運営評価結果(子育て支援部)
母子生活支援施設
- 保育施設の利用に関する事項の見直し

■9月30日(月)

- 陳情審査

議会運営委員会

■8月21日(水)

- 令和6年第3回定例会の招集について
- 提出予定議案について
- 会期及び会期中の日程について
- 議会運営委員会に提案する意見書等について
- 一般質問の通告期限について
- 請願・陳情について
- 決算特別委員会の設置及び正副委員長を選出について
- 本会議における討論通告書の提出期限について
- 令和6年度目黒区各会計補正予算案について
- 令和6年度都区財政調整当初算定結果について
- 政務活動費収支報告書に係る議長の調査結果について
- 災害用伝言ダイヤル(171)による安否情報把握訓練について
- 地方自治法の一部改正について(区議会に関連する主な内容)

■8月28日(水)

- 陳情について
- 一般質問の順序について
- 令和6年度区政功労者表彰式の概要について

- 令和6年度区議会事務局補正2号予算要求について
- 補正審査の会場について
- 特別区議会議長「日中友好交流事業」における目黒区議会の対応について

■9月4日(水)

- 追加提出議案について
- 議事日程及び進行順序について
- 委員会開催予定について
- 意見書(案)について
- 諮問(人権擁護委員候補者の推薦)について
- 決算特別委員会の正副委員長の候補者について
- 陳情の取下げについて
- 令和7年度行財政運営基本方針について
- 令和7年度当初予算編成日程について
- 政務活動費収支報告書に係る議長の調査結果について
- 政務活動費に係る日程について
- 災害用伝言ダイヤル(171)による安否情報把握訓練の延期等について
- 目黒消防署視察の実施について

■9月6日(金)

- 陳情審査
- 諮問(人権擁護委員候補者の推薦)に対する賛否について
- 議事日程及び進行順序について
- 意見書案について
- 令和5年度特別区・目黒区普通会計決算について
- 目黒区議会における検討課題について

■9月25日(水)

- 議案の撤回について(※)
- 追加提出議案について
- 追加提出議案について(議員提出)

■9月30日(月)

- 追加提出議案に対する賛否について
- 討論通告について
- 議事日程及び進行順序について
- 碑文谷保健センター跡地への東京都児童相談所の誘致について
- 令和6年度国内友好都市等との議会交流について(案)
- 目黒区議会における検討課題について

議案の撤回について(※)

9月9日の生活福祉委員会で、議案第41号目黒区立体育施設条例の一部を改正する条例の審査において、八雲体育館の使用料の上がり幅が他の体育施設に比べて大きいのではないかと、議員から質疑がありました。
委員会終了後、区で改めて確認したところ、使用料算定に用いた面積に誤りがあることが判明し、区長から議案を撤回したいと求めがありました。
そのため、区議会では、9月24日に生活福祉委員会を開催し、議案の誤りについて報告を受け、9月30日の本会議で質疑の後、撤回を承認しました。
なお、議案は、区で内容を精査した上、令和6年第4回定例会に再提出される予定です。

委員会の会議録は
閲覧・検索できます。



決算特別委員会 討論要旨 ～令和5年度一般会計歳入歳出決算を認定～

決算特別委員会では議長と監査委員を除く32人の議員が、令和5年度決算について6日間にわたり慎重に審査しました。
審査の様子はコードから「令和6年決算特別委員会」の録画映像を視聴できます。
また、本会議での委員長報告と討論、議決の様子は、「令和6年第3回定例会」の「9月30日本会議」から、録画映像でご覧になれます。



- 9月6日 委員長・副委員長の互選
佐藤ゆたか委員長、木村あきひろ副委員長が選出されました。
- 9月17日～25日 議案審査 ()は議案番号
一般会計(第56号)／国民健康保険特別会計(第57号)／後期高齢者医療特別会計(第58号)／介護保険特別会計(第59号)
- 9月30日 委員長報告、討論、議決 (議決結果は6面)
本会議で、佐藤ゆたか委員長が決算特別委員会で審査した経過と結果を報告しました。各会派等の代表9人が、決算の認定に対し、賛成・反対の立場で討論を行いました。



木村あきひろ 副委員長 佐藤ゆたか 委員長

反対

「住民福祉の機関」として区民のくらしを

支え得る行政に転換を

日本共産党目黒区議団 岩崎 ふみひろ 議員

1点目は行政の支援を最も求めている区民に対し支援が弱いこと。区内中小零細企業や生活保護利用者、低所得者への支援は不十分で、国保料や介護保険料の引き下げもなかった。
2点目は区有施設の再編と受益者負担の区民への押しつけ。民間丸投げで大手企業主導のPFI事業による区民センターの整備、南部・西部地区の区立

中学校の統廃合、施設使用料の引き上げなど容認できない。
3点目は、財政調整基金を減らす要因である市街地再開発事業は見直し、区民生活支援に転換するべき。
4点目は、学童保育クラブの民間委託の推進をやめること。区立を存続し、学童保育の待機児童や過密化の解消を第一に推進すべきである。

賛成

今こそ大胆な財政ルールの見直しで、持続可能な財政運営を進めよ

自由民主党目黒区議団・区民の会 小林 かなこ 議員

コロナ禍、物価高騰、緊急事態においても、区民を守り行政サービスの質を維持していくためには、持続可能な財政運営が大前提となる。令和5年度の目黒区一般会計決算の結果は、積立基金残高(貯金)が特別区債残高(借金)を838億円余り上回る安定かつ堅実な財政運営となったことは評価する。
今後、区有施設の更新で2千億円以

上の財源が必要となる。財政運営に余裕がある今こそ、大胆な財政運営ルールの見直しと一部の事業廃止で持続可能な財政運営を実現し、行政サービスの質の向上に努めよ。併せて、行政運営では、行政手続きのオンライン化、老々介護の家族支援、都立児童相談所の設置等、老若男女問わず全ての区民の満足度向上に努めよ。

反対

区民全員に一律現金給付！ 目黒区美術館は民間に貸し出し保存を

こいで まおり 議員

令和5年度決算は73億円的大幅黒字。物価高騰対策で28万人の区民全員に一律現金給付実施など、思い切った施策も可能だったのでは。長期目的の積立基金を20年国債で運用し、その

利息を区民に分配を。千葉県佐倉市、川村記念美術館は都内移転の可能性がある。目黒区美術館を有償で貸し出し、建物保存の検討をすべき。

賛成

嵐の前に、 目黒区は何をすべきか

めぐろの未来をつくる会 かいでん 和弘 議員

昨年度の決算は、区税収入が過去最高額の515億円にのぼるなど、非常に安定していた。しかし今後、学校などの区有施設の建て替えに巨額の費用がかかるため、目黒区の財政が苦境を迎えるのはほぼ確定している。いわば今の状況は、嵐の前の一時の凪にすぎない。
そんな状況だからこそ、今のうちから区の目指すべき将来像に照らした“取

捨選択”が必要だ。ひとたび区の将来像に相反する施策を容認すれば、それは容易に廃止できない、後の時代の足かせとなる。だが逆に、区の目指す方向性と合致するものならば、トライ＆エラー大歓迎で挑戦すべき時である。
区長以下、全職員が「嵐の前に目黒区は何をすべきか」を問い直し、荒波を乗り越える準備を行って頂きたい。

賛成

区民・現場の声を聞き、寄り添った対応で 必要な施策を実行せよ！

公明党目黒区議団 はま よう子 議員

原油価格・物価高騰及び円安や、ふるさと納税等による減収の影響が続く中「令和5年度行財政運営基本方針」に基づき、国や都の助成金を活用し、4度にわたる補正予算を編成し、区民生活と区内事業者を支えてきたことは評価する。一方で、令和5年度目黒区実質収支比率は9.4%であり、適正範囲の3～5%を上回っていた。この物価高騰の

中、区民の暮らしを守るため、区独自の施策を実施するべきであった。今後は区有施設の建て替えや扶助費増により、財政圧迫は避けられない。適切な事業評価を行い、区民や現場の声に耳を傾け、既存の枠にとられない豊かな発想で、その声を形にする施策に取り組むことを強く要望し、本決算に賛成する。

賛成

区立児相設立断念と、都の交付金割合引き上げ交渉の影響について

目黒区議会立憲民主党 細貝 悠 議員

令和5年度決算の特徴は、主に新型コロナ対策費や物価高騰対策費の2点である。子育て応援給付金や給食費保護者負担ゼロなどが区民生活を支えた。
目黒で起きた痛ましい児童虐待死事件を二度と起こしてはならない。
総括質疑では、都区財政調整交付金割合引き上げ交渉の根拠にしていた区立児童相談所を断念しても、引き続き

都に割合増を求めるのかと質問した。区からは「変わらず求めていく」との答弁があった。
今後、児童相談所のあり方に関しては多くの議論が必要だ。ただし、サービスを求めるだけではなく、同じく財源も確保する必要がある。決算特別委員会で伝えたこれら意見等を区政に反映することを要望し、賛成する。

賛成

住み続けたい目黒のために

日本維新の会目黒区議団 上田 あや 議員

①持続可能な財政のためのルール見直し、②受援体制強化による防災力向上、③感染症情報提供、④検診等受診券の郵送費用削減、⑤高齢者福祉関係機関とヤングケアラー支援機関との連

携、⑥教育無償化の拡充、⑦図書館支援員制度拡充、⑧不登校支援、⑨小・中学校給食費相当額の公会計化等を要望し、本決算に賛成する。

賛成

区長も職員も区民にとっての真の豊かさとは何かをもっと追求せよ

白川 愛 議員

区長は客観的な証拠に基づく政策立案の強化を述べるが、実績からは区民生活を豊かにする明確なビジョンや将来展望が不明瞭である。オープンデータの活用や各種支援策はあれども、政

策間の連携不足が際立つ。極めて限定的な外国人学校補助金制度の見直しを求めると共に、より区民のための公正な政策を推進する重要性を強調する。

賛成

人権が守られ、区民の声が反映される、 住み続けたいまち目黒に

増茂 しのぶ 議員

赤ちゃんから高齢者まで、全ての人の人権が尊重され、動植物も大事にされるまちづくりの推進を。住環境を守るため羽田新飛行ルート撤回、区民の共有財産である美術館は、壊さず活か

すなど区民の声を聞くことや、ワクチンのデメリット情報、マイナ保険証の見直しを求める。庁舎内の給水機を増やしペットボトル削減につなげよ。

特別委員会

◆ 施設更新・DX等調査特別委員会

■7月12日(金)

- 新たな目黒区民センター等整備・運営事業に係る事業者公募の実施
- 目黒区民センター周辺地区における地区計画(原案の案)の住民説明会等の実施結果
- 区民交流活動室(仮称)の名称及び貸室設置条例制定に向けた基本的考え方

■9月12日(木)

- 議案審査
- 区有施設見直し計画等の改定検討の方向性
- 現在の学校施設更新の課題と学校施設更新計画の改定
- 地方公共団体情報システム標準化移行困難事案の発生と今後の対応

- オンラインによる納付相談の開始
- 物価高騰対応重点支援給付金事業の実施状況
- 物価高対応等融資支援金の給付

第3回定例会



◀議案はこちら

※委員会や会派の構成員は、
ウェブサイトをご覧ください



◆議案の審議結果と各会派の賛否

(○：賛成、×：反対)

審査した 委員会	議 案 名 等		概 要		自民 9人	未来 7人	公明 5人	立憲 5人	共産 4人	維新 2人	無(50音順) 各1人	結果
区長提出議案												
企総	目黒区長の退職手当の特例に関する条例	現在の任期に係る区長の退職手当を支給しないこととするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	目黒区中目黒スクエア付帯駐車場条例の一部を改正する条例	使用料の額を引き上げるとともに、青少年プラザの廃止に伴い、規定の整備を行うもの	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
生福	目黒区心身障害者センター条例の一部を改正する条例	利用する団体に係る使用料の区分及び利用時間帯を見直すとともに、使用料の額を改定し、併せて規定の整備を行うもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	目黒区目黒区民センター・田道ふれあい館付帯駐車場条例の一部を改正する条例	目黒区目黒区民センター・田道ふれあい館付帯駐車場の使用料の額を引き上げるもの	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
	目黒区国民健康保険条例の一部を改正する条例	被保険者証等の廃止に伴う規定の整備を行うとともに、急患等の被保険者に係る保険料の徴収猶予期間の特例を定めるもの	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
都環	目黒区立公園条例の一部を改正する条例	目黒区立公園の使用料の額を引き上げるもの	○	○	○	○	×	○	○	×	○	
文教	目黒区立林間学園条例の一部を改正する条例	目黒区立林間学園の使用料に係る利用者の区分を見直すもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	目黒区立緑ヶ丘小学校等の屋内プールの使用に関する条例の一部を改正する条例	目黒区立緑ヶ丘小学校等の屋内プールの使用料に係る使用者の区分を見直すもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	目黒区めぐろ区民キャンパス付帯駐車場条例の一部を改正する条例	目黒区めぐろ区民キャンパス付帯駐車場の使用料の額を引き上げるもの	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
	目黒区立学校施設使用条例の一部を改正する条例	目黒区立学校施設の使用料を見直すとともに、規定の整備を行うもの	○	○	○	○	×	○	○	×	○	
	目黒区青少年プラザ条例を廃止する条例	青少年プラザを廃止するもの	○	○	○	○	×	○	×	○	○	
施特	目黒区立住区会議室条例の一部を改正する条例	公の施設の貸室機能を集約し、新たにコミュニティルームとして設置及び管理を行うとともに、使用料を見直し、併せて関係条例の規定の整備を行うもの	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
企総	令和6年度目黒区一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算に79億8,072万円を追加し、総額を1,383億416万2千円とするもの	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
	令和6年度目黒区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算から7,559万5千円を減額し、総額を280億9,235万円とするもの	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
	令和6年度目黒区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に1億3,324万6千円を追加し、総額を81億5,111万7千円とするもの	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
	令和6年度目黒区介護保険特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に4億8,575万9千円を追加し、総額を225億7,512万6千円とするもの	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
決特	令和5年度目黒区一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額1,333億3,041万6,952円(前年度比1.49%減) 歳出決算額1,258億8,487万9,444円(前年度比1.04%減)	○	○	○	○	×	○	×	○	○	
	令和5年度目黒区国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額267億2,216万4,126円(前年度比1.03%減) 歳出決算額264億2,216万4,126円(前年度比0.39%減)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
	令和5年度目黒区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額76億4,085万5,703円(前年度比2.97%増) 歳出決算額75億5,952万4,502円(前年度比3.05%増)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
	令和5年度目黒区介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額221億8,190万3,015円(前年度比2.74%増) 歳出決算額217億831万5,400円(前年度比2.07%増)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
一	目黒区副区長の選任の同意について(荒牧広志氏)	9月30日任期が満了の荒牧広志氏を、再び副区長に選任することに同意するもの	○	○	○	○	×	○	×	○	○	
	目黒区教育委員会委員の任命の同意について(高橋智佳子氏)	9月30日任期が満了の川嶋春奈氏の後任として、高橋智佳子氏を委員に任命することに同意するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推薦について(秋山弘子氏)	秋山弘子氏を推薦することの可否を諮問するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推薦について(小林理恵子氏)	小林理恵子氏を推薦することの可否を諮問するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第41号目黒区立体育施設条例の一部を改正する条例の撤回について	体育施設の一部の使用料の算定方法に誤りがあることが判明したため撤回するもの 4面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案												
一	訪問介護の基本報酬引き下げの早急な見直し等を求める意見書 7面		×	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	学校施設の更新・改修等で国庫負担金を算定する際に用いられる建築単価の実態に見合った引き上げを求める意見書 7面		×	○	×	○	○	×	○	○	○	

◆陳情の審議結果と各会派の賛否



◀陳情はこちら

(○：賛成、×：反対、退：退席)

審査した 委員会	件名	自民 9人	未来 7人	公明 5人	立憲 5人	共産 4人	維新 2人	無(50音順) 各1人	結果
生福	行政が運営主体となる新規火葬場建設を求める陳情ほか1件	○	○	○	○	○	○	○	採択 (※)
企総	母(王乖彦)が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情	×	×	×	×	退	×	退	不採択
	集合住宅での組織的嫌がらせ行為(集団ストーカー犯罪)の解明と予防策を求める陳情	×	×	×	×	×	×	×	
文教	「利害関係者」という誤解を招く表現が使われたことに関して説明を求める陳情	×	×	×	○	○	×	○	
	現第十一中学区在住の全ての子が安心して目黒西中学校仮校舎に通学するためのバスの運行を求める陳情	×	×	×	×	○	×	○	
	統合新校の新二年生・新三年生の各学級を特段の措置を講じて少人数学級にすることを求める陳情	×	×	×	×	○	×	○	

(※)は、趣旨を了とする採択のため、執行機関への送付していません。

会派略称 自民：自由民主党目黒区議団・区民の会 未来：めぐろの未来をつくる会 公明：公明党目黒区議団 立憲：目黒区議会立憲民主党 共産：日本共産党目黒区議団
維新：日本維新の会目黒区議団 無：無会派
審査した委員会 **企総**：企画総務委員会 **生福**：生活福祉委員会 **都環**：都市環境委員会 **文教**：文教・子ども委員会 **議運**：議会運営委員会 **施特**：施設更新・DX等調査特別委員会
決特：決算特別委員会

撤回承認した陳情

文教 ● 目黒区長と目黒区教育委員会に対し、目黒区立目黒南中学校・目黒西中学校の新校舎建設工期の延長について、当事者である子どもと保護者、ならびに地域住民への説明を速やかに行うとともに、延長によって生じた損失と困惑への具体的な対応策を講じて、区政に対する住民の不信を解消することを求める陳情

継続審査とした陳情

- 企総** ● 拉致問題啓発に関する陳情
- 企総** ● 北方領土及び竹島の領土問題の啓発に関する陳情
- 都環** ● 下水道設置工事に伴う私道の区道化に関する陳情
- 都環** ● 碑文谷公園こども動物広場のポニー馬場の3分の1に屋根を設置の陳情
- 文教** ● 民営化によって新たに生じた、日々の保育サービスにおける重大な公私間格差(オムツ無償処分・保育ICTシステム提供)是正の経過措置を要望する陳情
- 議運** ● 目黒区議会開示請求に関する陳情

請願・陳情の受付



請願・陳情とは、区政に関することなどを、区議会に直接要望できる制度です。請願には区議会議員の紹介が必要です。目黒区議会では、議員の紹介のない陳情も請願と同様に取り扱います。

◆受付方法◆

第4回定例会での審査を希望する方は、締切日までに、区議会事務局へ請願・陳情書を持参してください。郵送によるものは原則審査を行いません。

第4回定例会への請願・陳情締切日 **11月12日(火)正午**
※締め切り日以降に提出されたものは、次の本会議で審査します。

意見書を提出しました

区民の皆さんの生活に関わることで、それが国や都の仕事であるため、区だけでは解決できないことがあります。このようなとき区議会は、地方自治法第99条に基づき、国会または関係行政庁(国・都など)に対して、「意見書」を提出し、問題の解決を求めます。第3回定例会では2件の意見書を提出しました。

学校施設の更新・改修等で国庫負担金を算定する際に用いられる建築単価の実態に見合った引き上げを求める意見書



現在、目黒区では区立学校の老朽化に伴い、学校施設更新計画が策定され、建て替えが進められています。しかしながら物価高騰のもとで建築資材も急激に高騰し、自治体の財政を圧迫しています。

さらに学校施設更新・改修等における国庫負担金を算定するために用いられる建築単価は毎年見直され、微増しているものの実際の建築単価に比べ、1/2から約1/3低い設定の区分もあり、ますます自治体の財政を圧迫する状況になっています。建築単価が建築資材の高騰に追いついていません。

建て替えの際には太陽光パネル設置や高断熱化等による省エネ対策などZEB化にも取り組むなど、負担も増える中、今後も円安、ガソリン・電気代の高騰、ウクライナ情勢などを理由に建築資材が高騰すると予測されており、ますます実態とかけ離れていく社会情勢にあります。

学校施設は、非常時には避難所としての役割も果たす重要な施設であることから、常に健全に保つ必要があります。避難所としての体育施設の機能の充実、水はけのよい校庭や大地震にも耐えられるふさわしい建物にしていくにはお金がかかり、建築単価が上がらなければ進まない問題です。

よって、目黒区議会は学校施設環境改善交付金の算定で用いられる建築単価の実態に見合った引き上げを強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和6年9月30日

目黒区議会議長 おのせ康裕
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣 宛て

訪問介護の基本報酬引き下げの早急な見直し等を求める意見書



介護報酬の改定に当たっては、すべての介護事業者のサービスが安定的に提供されるとともに、介護従事者の賃金が改善することによって生活が安定し離職が防止されることに配慮がなされなければなりません。

しかし、政府は令和6年度の介護報酬改定において訪問介護の基本報酬を引き下げました。これにより、小規模な訪問介護事業所の倒産や人手不足に拍車がかかり、訪問介護サービスが受けられなくなる要介護者や介護離職が増加するおそれがあります。

東京商工リサーチの調査によると、令和5年の訪問介護事業者の倒産は67件と過去最多を更新し、倒産や廃業の懸念が増えています。また、厚生労働省の調査では訪問介護事業所の36.7%が赤字経営であることも分かっています。そもそも介護事業所は、人手不足と物価高騰等により、厳しい経営を強いられています。

厚生労働省は、訪問介護の処遇改善加算について高い加算率に設定したと説明していますが、運営資金につながる基本報酬を下げてしまえば、小規模な事業者の経営の厳しさに拍車がかかることは明白です。また、厚生労働省は処遇改善加算を取りやすくしたと説明していますが、上位の加算の要件は厳しいため、小規模事業者が取得することは困難です。

訪問介護の基本報酬の引き下げによって、将来的には地域包括ケアシステムが崩壊し、介護保険制度による「介護の社会化」に逆行する事態が起きかねません。よって、政府に対し、以下の事項を速やかに実施するよう強く求めます。

記

- 訪問介護の基本報酬引き下げによる影響について早急に確認し、その結果に基づいて訪問介護事業者に支援金を支給すること。その上で、訪問介護の基本報酬引き下げの見直しを含めた介護報酬の期中改定を行うこと。
- 処遇改善加算が取得できない事業所に対する加算基準の緩和を実施すること。
- 介護報酬は、単に介護事業経営実態調査に基づくサービス全体の収支差率で判断せず、事業規模や地域事情によって収支差率に大きな開きがあることを考慮して報酬額を判断するとともに、実態に即した基準に最適化していくこと。
- 訪問介護事業所の経営難の原因の1つになっている人手不足を解消するため、介護従事者のさらなる処遇改善を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和6年9月30日

目黒区議会議長 おのせ康裕
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣 宛て

能登豪雨被災地支援募金へのご協力
ありがとうございました

能登半島地震で避難生活を強いられる中、さらなる被害を受けられた能登の皆さまを支援するため、目黒区議会は、10月1日に区内の駅で募金活動を実施しました。多くの皆さまからお寄せいただきました35万1,620円は、区議会議員等から募ったお見舞金20万円とともに、10月7日おのせ議長と議員の代表で石川県東京事務所にお届けしました。



▲中目黒駅



▲学芸大学駅



▲都立大学駅



▲自由が丘駅

第36回議員写真展 ～躍動～

今年も、第4回定例会の開催にあわせて、議員写真展を開催します。どなたでもご覧になれます。

本会議や委員会の傍聴もできますので、総合庁舎本館5階区議会事務局までお気軽にお立ち寄りください。2面

日時 11月21日(木)～12月5日(木) 10:00～16:00
(初日は12:30から最終日は15:00まで 土・日、祝日を除く)

会場 総合庁舎本館5階 第1会議室

主催 目黒区議会 芸術文化会

さらなる友好・協力関係を築くため、ソウル特別市中浪区を訪問しました。

7月23日に友好都市中浪区の議会を表敬訪問し、意見交換を行いました。24日には、目黒区・中浪区、東城区(中国)の中学生が参加する「三区間交流事業」のスポーツ交流を視察しました。



▲中浪区庁舎で皆さんから歓迎を受けました



▲中浪区議会と意見交換を行いました

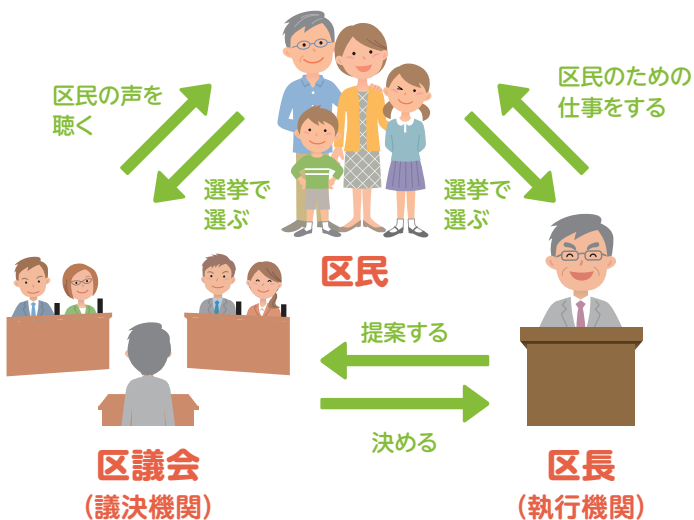


▲スポーツ交流の開会式に出席し、子どもたちを応援しました

魅力あふれる目黒区へ



目黒区議会



区議会と区長の関係は?

区議会と区長は区政を進めていく「車の両輪」であり、対等で上下関係はありません。お互いの立場を十分尊重し、意見を出し合い、区民生活の向上に努めています。

定例会の流れ

本会議

本会議には年に4回開会される「定例会」と臨時に行う「臨時会」があります。定例会や臨時会では、全議員が集まり、一般質問や代表質問を行うほか、区長や議員から提出された議案や区民からの請願・陳情をより専門的に審査するため、委員会に付託します。

一般質問

議員は、区民から寄せられるさまざまな声を踏まえ、区民の代表として区政について質問を行います。2・3面

委員会審査

委員会には、常に設置する4つの常任委員会と議会運営委員会、必要に応じて設置する特別委員会があります。幅広い分野にわたるたくさんの議案や請願・陳情を、委員会に分かれて審査します。4・5面

本会議・議決

本会議にて、委員長が委員会での審査経過と結果を報告し、質疑や討論を行い、議決します。6面

議決とは?

区議会は、議案や請願・陳情を審議し、議会の意思を決定します。これを議決といいます。

議会で決める事項は法律で定められており、区が重要な仕事をする際には、必ず議会で審議し、議決を行っています。

第3回定例会中の委員会審査

- 6日 議運 陳情審査
- 9日 常任 議案審査
- 10日 常任 陳情審査
- 11日 企総 議案審査(補正予算)
- 12日 施特 議案審査
- 17~25日 決特 議案審査



議員勉強会を開催しました ～目黒消防署～

首都直下地震や豪雨災害等の発生が危惧される中、区と消防とが連携を強化して対応することの重要性について、目黒消防署災害対策調整担当課長からお話を伺い、最新型のはしご車や延焼シミュレーションシステムなどを視察しました。区議会議員には防災士の有資格者が25人、地域の消防団で活躍する議員が14人います。議員として地域の防災のためにできることを消防署の皆さんと一緒に考えました。



▲様々なシステムを用いて、火災の燃え広がり方や雨雲の動き、雨量などを予測することができます。



▲目黒区には、下目黒に目黒消防署の本署、中目黒・碑文谷・八雲・大岡山に消防出張所があります。消防署の皆さんは、災害現場の最前線で消火、救助、救急活動に日々尽力されています。

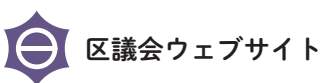


▲はしごは30m(ビル10階)の高さまで伸び、大きなバスケットには最大5人乗ることができます。



▲防火衣と呼吸器の重さは約20kg。火災発生時には、1分程度で着装し、出場するそうです。

目黒区議会からの情報を発信中!



目黒区議会
議会中継



区公式X (旧Twitter)



区LINE公式



音声版



デジ

めぐろ区議会だより音声版は、ウェブサイトから聴くことができます。また、視覚障害などのあるかたのためにデジ版をCDでお送りしています。詳細は、障害者支援課(☎5722-9846、FAX3715-4424)へお問い合わせください。

再生紙を
使用しています



環境にやさしい
植物油インキを
使用しています



見やすく読み間違えにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています